

# 令和5年度 島根県技術士会 新年例会 式次第

日時：令和6年1月27日（土） 13:00～  
場所：ニューウェルシティ出雲  
〔ハイブリッド方式（会場参加およびWeb配信）〕

1. 開会挨拶 会長 石田弘至 13:00～13:08  
2. 本日の進行について 研究部会 13:08～13:10  
3. 研究報告（共同研究）の発表

- (1) 水資源・水環境研究分科会 13:10～13:35  
温井ダム視察報告 西田修三

温井ダムは、広島県の太田川上流にある国土交通省所管の多目的アーチ式コンクリートダムで、ダム高は黒部ダムについて全国2位である。温井ダムの建設にあたっては、難易度の高い設計法、施工法が用いられている。その概要の紹介と、温井ダム資料館の充実した展示物の豊富さ、地山の中をエレベーターで降りる見学ルートの興味深さ及びダム本体を視察した報告である。

- (2) 庭園文化研究分科会 13:35～14:00  
探訪！菅田庵 原 裕二

出雲流庭園のルーツは、松江市菅田町の有澤山荘菅田庵にあると考えている。そのような中、今年度の分科会では御当主にじっくりと案内していただく機会があった。今まで知らなかった興味深い内容が多く、大変有意義な時間を過ごすことができた。菅田庵の紹介を行いつつ、その折に感じた疑問や考察について発表する。

- (3) 鉄道遺構研究分科会 14:00～14:25  
14年目の活動 ～広がるネットワーク～ 和田 浩  
旧三江線を踏査して ～橋梁50年の変遷～ 岸根真志

令和5年度は、「第4回全国未成線・廃線サミット in 高千穂」への参加、今福線の「手づくり郷土賞」受賞、鉄道史研究の第一人者である小野田滋氏との旧三江線の現地調査等、多様な活動を通して、多くの方々と知り合うことができた。旧三江線は大正15年に工事着手し、昭和50年に全線が開業した。この鉄道路線に架かる橋梁は、建設工事の中断をはさみながら約50年にわたって架橋された。本分科会の14年目の活動と、旧三江線に架かる橋梁の変遷とその特徴について報告する。

- (4) 生物多様性研究分科会 14:25～14:50  
コウノトリ 令和5年度の活動報告 ～原点回帰～ 大嶋辰也  
島根半島・宍道湖中海ジオパークの魅力 ～生物多様性からのアプローチ～ 北村 清

平成28年度にコウノトリに着目して豊岡市を視察して以降、雲南市を中心に餌資源量調査などに取り組んできた。今年度は改めて豊岡市を視察し、これまでの活動を振り返り、今後の取り組みについて考えてみた。また、昨年度から着手した島根半島企画（ジオパーク）については、自然観察会を企画し、現地で実際に活動している方との意見交換を行った。

【休 憩】

14:50~15:00

(5) 島根県B級遺産研究分科会

15:00~15:25

島根県B級遺産研究分科会 令和5年度活動報告

松浦寛司

本年度は、「浜田橋（木コンクリート橋）」の最後の調査として、島根県コンクリート診断士の協力を得て実施した床版鉄筋の配置状況とコンクリート強度に関する報告、「矢田サイフォン」に関しては円筒分水工の3次元モデルを用いて構造を報告する。

我々が研究テーマとしているB級遺産は、最先端の技術を駆使した特別な施設ではなく、生活の中で必要性に駆られ工夫して造られ活用されたものであり、その存在を後世に伝えたい施設である。

浜田橋は今日も供用がなされ、矢田サイフォンも8月31日の竹内神社大祭の防火用水として現在も使命を負う施設である。

(6) エネルギー多様性研究分科会

15:25~15:50

メタンハイドレートについて

井上数夫

今年度は、メタンハイドレートに関する知見を得るための活動として、東京海洋大学の青山千春特任准教授（メタンハイドレート研究の第一人者）を往訪し、同氏の研究内容やメタンハイドレートの研究開発の動向について伺い、今後の展望について考察した。

(7) DX研究分科会

15:50~16:15

DX研究分科会初年度活動報告

三好恵美

今福線の3次元点群データ取得とデータ活用方策の提案

藤原宏志

国土交通省のBIM/CIM原則適用を背景に、我々島根県内の公共事業に携わる技術者として、インフラ分野のDXに取り組むうえでの課題解決や基礎知識の普及を目的として、今年度発足した「DX研究分科会」の活動内容について、①「BIM/CIMの基礎知識取得」、②「他研究分科会とコラボして3Dモデル作成」の2つの柱で実施した内容を紹介する。

鉄道遺構研究分科会とのコラボ事例として、今福線の鉄道遺構の現地計測と図化を行う上での参考資料とするための遺構施設の3次元点群データ取得とデータの活用方策に関する提案を行い、DX研究分科会との連携の可能性を検討した。

4. 研究報告（個人研究）の発表

(8) すでに起こった未来 人口減少と農業・農村整備

堀尾俊弘

16:15~16:30

(9) 古代の韓半島のみちを探る：釜山～ソウルまでの交通路

吉田 薫

16:30~16:45

5. 日本技術士会中国本部報告ほか

田中秀典

16:45~16:50

6. 閉会挨拶・事務連絡

研究部会、事務局

16:50~17:00